

第 9 回多可町就学前教育・保育検討委員会会議録

1 日時：平成 23 年 2 月 24 日(木)15:00～17:00

2 場所：八千代地域局 2 階第 1 会議室

3 出席者：

委員 鈴木委員、青山委員、平位委員、有田委員、安平委員、清水谷委員
西田委員、吉田委員、岡本委員、萬浪委員、越川委員
事務局 教育長、藤本副課長、藤原課長補佐

協議内容

・地域の実態や幼保一元化の流れを考慮した中区における将来の諸施設の適正配置について

委員長	地域の実態や幼保一元化の流れを考慮した中区における将来の諸施設の適正配置について事務局から説明願いたい。
事務局	会議資料 P 1 ～ P 8 に基づき、現状及び検討内容を説明し、事務局案を提案した。
委員長	質疑応答をお願いしたい。
委員	学校については、通学する校区が決まっている。幼稚園、保育園についても区域分けがあるのか？中区の幼児が加美や八千代のキッズに行けるのか？
事務局	保育所は、町内外問わず保護者が選ぶことが出来る。 幼稚園は、町内では選ぶことが出来る。町外の幼児の受入は原則出来ない。
委員	加美区在住の幼児で、2 歳時中区保育所、3 歳時は母の育休期間は在宅、育休明けキッズランドやちよ、4 歳時中区保育所、5 歳で加美区の幼稚園に行った児がある。
委員	資料 P 7 にある保育単価は、民間保育所を公立にした場合の支出の額なのか？
事務局	この保育単価は、国全体の支出の試算を出している。
委員	定住自立圏構想を耳にするが、西脇市はどうか？関係があるのか？
事務局	西脇市では、黒田庄の公立 2 園が統合し、民間の 1 園となった。
委員	近隣の状況はどうか。
事務局	丹波市は、認定こども園を活発に進めている。加西市は、幼稚園の計画を立てている。
委員	加西市は、まずは公立を民営化にすると打ち出したが、民間、公立両方から反対を受け、現在は、公立を 2 から 3 園残す形でこども園の方向に進んでいる。人口減が財政減につながり、統廃合すると 1 園から 4 校の小学校に散らばる形になる。丹波市では認定こども園を続けると、子どもの体力の低下が気になるという声も聞いている。
委員	私立の保育園の限界というものがあるのか？
委員	定員を下げると一人当たりの保育単価が上がる。60 人ぐらいが一番存続しやすい。それ以下になると難しく、集団の意味も無くなる。60 人前後がいい。現状は 100 人程度になっているが、保護者の顔も見え、何とか出来ている。これ以上になると難しい。

	現実的に（中区においては）5歳児が（中町幼稚園に）出ることは淋しい気はする。5歳児が残ることは嬉しい話ではあるし、残るのが全国的（標準）となっている。
事務局	資料P6のグラフ中区児童数と各施設入園児童数について、上の想定は現状の平成27年までの推移を表している。下のグラフ想定は、平成25年度から中町幼稚園を廃止した場合、平成27年までの推移を表している。
委員長	国は、平成25年からこども園にしようと言っていたが、分からなくなった。しかし、今後、どの政党が政権を担当することになってもほぼその方向になるだろう。もし中町幼稚園を廃止したら、幼保連携のこども園ということになる。
委員	5歳児を受け入れるとなると増改築が必要な園がある。施設的にも補助金が必要で、平成25年の廃園はまず無理だろう。 中町幼稚園を廃園し、民間保育所3園に任せることのメリットは？
委員	中区の保護者の動きはどうか？
事務局	中区についても、保育制度の説明会をおこなったが、問い合わせも要望もない。
委員	中区の保護者は今のままだと思っている。昔から5歳児は幼稚園が当たり前と思っており、関心がない。
委員	中区保育所の保護者の中には、5歳になっても引き続いて保育所に残りたいが、子どもたち全員が幼稚園に行くので断念されている人もいる。
事務局	5歳児の保育所における保育料は、上限を16,500円に設定している。来年度にならないとはっきりとした人数は分からない。
委員	今後、保護者の意向、幼稚園の状況を見ないと、こども園にすることは出来ないのではないか。保育料の関係で幼稚園児が少なくなる可能性がある。
委員	西脇市においては、幼稚園に預かり保育が無かったため、多くの5歳児が保育所に残った例がある。
事務局	平成23年度は、中町幼稚園に預かり保育を残した。もし、平成24年度に中町幼稚園の預かりを無くしたら、保育園に流れる可能性はある。
委員	殆ど保育園に残るだろう。そうになると3～5歳児が保育園に残り、保育に欠けない人だけ幼稚園に行くことになる。
事務局	平成23年度の中町幼稚園の預かりは全体の半数の申込がある。 時代の流れとしては幼稚園にも預かり実施となっており、預かりを無くすると逆行することになる。
委員長	保育所を5歳までとすることは何の問題もない。 ここ1～2年で政策を決める必要がある。中町幼稚園を廃止にしまうと、幼稚園のみの施設は殆ど無いので、私的には残しておく方がいいと思う。 加西市では、企業の新規参入を望んでいる。
委員	P5のと考えられる案が全て出ているのですね。
事務局	はい。付け加えるならば、にDとして、公立1、私立3の現状のままである。
委員	預かりが半数ならば、のAまたはB案になる。 それぞれ、メリット、デメリットをお願いしたい。

事務局	<p>案のメリットは、各区同じサービスができること。デメリットは、最近に施設整備をされた園もあり、調整ができないこと。</p> <p>A案のメリットは、保育に欠けない3歳・4歳児の幼稚園が可能になること。5歳児も預かり制度があり、長時間保育が受けられる。デメリットは、各区同じサービスができない(5歳児のみの幼稚園である)こと。</p> <p>B案のメリットは、保育に欠けない3歳から4歳児の幼稚園が可能になること。中町幼稚園の預かり保育が無くなり、その人件費が減少になること。デメリットは、民間保育所の経営を圧迫させること。年齢混合配置に対応出来る職員の配置、クラス増による施設整備、5歳児用の遊具の設置などが必要になること。</p> <p>C案のメリットは、近い場所で就学前教育を受けられること。デメリットは、年齢別クラスの設置が可能かどうかであること。出来なければ施設整備が必要であること。入園手続きや徴収事務など事務的な業務が民間に増えること。</p> <p>A案のメリットは、0歳から5歳まで一貫した教育が受けられる。デメリットは、公立職員の処遇の問題が出てくること。民間施設の整備が必要で、その費用が発生すること。また、町の補助金も必要になること。</p> <p>B案のメリット、デメリットは、基本的にA案と同じである。デメリットとして、民間施設の整備に子育て支援機能分が増えること。</p>
委員	<p>C案は考えられない。3つの民間保育施設を4つの保育施設に分けることは経営的に苦しくなる。保育現場からみると5歳児も受け入れて、小学校へ送ってやりたい気持ちはある。</p>
事務局	<p>3歳から幼稚園に行かせたい保護者がある。その幼児をどうするかが今後の課題である。中町幼稚園の預かり保育に通う児童を教育課程では教諭で、預かりになると別の指導員が見ている。保育園では同じ職員が19時まで見ているため、親としても安心できる。町のコストと総合的な財政を考える必要がある。</p>
委員	<p>A案だと国からの補助があり、町の負担は少ないと思われる。</p> <p>B案だと国からの補助がなく、町単独補助となり、町の負担増となる。</p> <p>中町幼稚園の預かり保育が無くなると、中町幼稚園の存続が成り立たないので、自然と廃止の方向になる可能性がある。</p>
事務局	<p>中区の説明会でも、5歳児は保育所の方が有利だと説明したが。</p>
委員	<p>はっきり分からないでいた保護者が殆どであった。</p>
委員	<p>子どもの中でも5歳で幼稚園というのが定着しており、「何で幼稚園に行かれへんねや」と泣いて怒る、悔しがっている児がいた。預かり保育で子どもが家にいないので、近所で遊ぶ友達がない。家にいるとテレビを見たりゲームしたりするので、途中からでも預かり保育に行っている。</p>
委員長	<p>現状を変えるには大変なエネルギーが要る。認定こども園からこども園化へ新システムへの移行もある。</p>
委員	<p>今日、決めてしまう必要はないのか。あと2から3回ほど協議できるのか。</p>
事務局	<p>少子化の動向や国の状況も見ながら、現状で出来る範囲で進めていく。</p>
委員	<p>保護者のニーズ把握が必要ではないか。アンケート調査結果を参考にしながら方向</p>

	性を出した方がいいと思う。
委員	0歳から5歳まで一貫した教育について、民間3園の保育所長さんの考え方も把握する必要があると思う。
委員	A案は、幼稚園の5歳児を保育所に、となると認定こども園にしなければならない。B案は、幼保一体型ではなく、幼保連携型である。
委員長	ある程度議論が出た。結果、案はあり得ない。B案もない。Aで進む可能性はあるが、今後検討する。必要ならば、保育所、幼稚園、小学校の連携で情報交換会も開催することとする。 次回は、5歳児をどうするかを含めて検討することとする。
事務局	次回は4月18日(月)15時から八千代地域局第1会議室で実施したい。
副委員長	これで第9回多可町就学前教育・保育検討委員会を終了する。